

1. 格付結果

企業名	株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
格付の種類	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000010101C1104
格付スコープ	<p>ソフトサービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソリューションサービス <ul style="list-style-type: none"> パスワードソリューション(Powered Solution)サービスの提供 ・システムインテグレーションサービス <ul style="list-style-type: none"> 各種業種向けシステム開発サービスの提供
格付対象	<p>本社拠点（川崎市中原区）の7本部・15部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一産業流通ビジネス本部： <ul style="list-style-type: none"> 第一システム部、第二システム部 ・第二産業流通ビジネス本部： <ul style="list-style-type: none"> 第一システム部、第二システム部、第三システム部、第四システム部 ・第一キャリアビジネス本部： <ul style="list-style-type: none"> 第二システム部、第三システム部 ・第二キャリアビジネス本部： <ul style="list-style-type: none"> 第一システム部 ・公共ビジネス本部： <ul style="list-style-type: none"> 第二システム部、第三システム部 ・セキュリティソリューション本部： <ul style="list-style-type: none"> エンタープライズセキュリティ部、 ネットワークサーバセキュリティ部 ・セキュアプラットフォーム本部： <ul style="list-style-type: none"> 第一プラットフォームインテグレーション部、 第二プラットフォームインテグレーション部 <p>（下線部分は現場審査を実施した審査対象部門）</p>

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
 TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2012 ISRating All rights reserved.

想定リスク	情報漏えい
格付符号	A ⁺ is (シングルAプラス)
格付の方向性	(ポジティブ)
有効期限	2012年1月8日から2013年1月7日まで (交付日から1年間)

2. 当該格付符号とした事由

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（以下、「富士通SSL」という。）は富士通株式会社の100%出資子会社であり、顧客からの要望に応じてソリューションサービスおよびシステムインテグレーションサービスを提供するソフトサービス事業を展開している。コーポレートメッセージとして「信頼と技術で応えるSSL」を掲げ、情報セキュリティマネジメントシステムを事業活動基盤の重要な要素として多く取り入れている。

2003年には一部部門がセキュリティ監視サービスでISMS認証を取得し、2008年3月にはQMSとISMSとの統合認証を全社で取得している。さらに、2009年1月には情報セキュリティ格付を新規受審し、今回4回目となる更新審査を実施した。今回の更新審査の経過を通じて下記の事項が確認された。

まず、マネジメント成熟度の観点では、富士通グループの統制に加えて富士通SSLとして同社が独自に定める統制が機能しており、管理組織体制の運営、関連規程類の整備、監査体制やインシデント管理の充実を始めとする高いマネジメント成熟度を維持・発展させている。現場部門においては、顧客からの預かり情報資産を各々の重要度に応じた取扱い管理体制が確立し、一定以上の水準を保ったプロセスが維持・定着している。今年度の審査では、機密保持に係る誓約書等の取得強化やリスクアセスメント結果を活用し外部データセンターへのシステム移設検討が行われていることを確認した。

次にセキュリティ対策強度の観点では、新たな管理ツールの導入や既存の管理ツールの機能強化が進められていた。引き続き管理策の有効性や受容するリスクを評価・検討し改善に向けた取り組みの継続が望まれる。

また各部門に設置されていたファイルサーバは、全社ファイルサーバへの移行計画が進展しており、こうした計画によりサーバ管理強化が図られている。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2012 ISRating All rights reserved.

総じて、マネジメント成熟度の観点では継続的な改善プロセスを有し、高水準の管理状態を維持・発展させており、セキュリティ対策強度の観点では、悪意のある外部者に対する管理策が十分に講じられていること、また悪意ある内部者に対する管理策を部分的に織り込んでいると評価できる。

以上